

JASMA 会報

2022年11月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

1. JIAM2022 OSAKA いよいよ開催!	1
2. 第170回理事会(ウェブ会議併用)開催	2
3. 若手社員向け研修(イノベーション人材育成研修)	3
4. 第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集締切り	4
5. JASMA部会・委員会・WGの紹介(市場対策第一委員会)	4

1. JIAM2022 OSAKA いよいよ開催!

開催に向けて、2022年8月5日(金)、16時～17時まで大阪コロナホテルにおきまして「JIAM 2022記者発表会」を開催しました。当日は国内プレス8社・10名が出席しJIAM 2022の最新情報、今後の取組み等について説明しました。

当工業会が主催する国際アパレル機器&繊維産業見本市(JIAM 2022 OSAKA)はいよいよ今月開催されます。前回開催から6年半ぶりに、11か国・地域から151社931.9小間が出展し、次世代につながる革新的な新製品やソリューションを発信します。(11月15日現在)



■テーマ：JIAMから、つながる...～次世代技術と匠の技コラボレーション～

■会 期：2022年11月30日(水)～12月3日(土) 10：00～17：00(最終日は16：00まで)

■会 場：インテックス大阪 4・5・6号館

■主催者特別企画のセミナーやテーマゾーン、様々な企画・イベントが満載!

<セミナー> (内容が決定したもの) (一例)

- 製造業とデジタルについて
- ASEAN・南西アジア・アパレル最前線-日系縫製企業10年間の戦いとこれから
- ツイステッド・ジャケット・パターンと縫製のマッチング 前身頃地縫い・肩地縫い(実用新案獲得)
- ショルダーキーパー(肩崩れを防ぐ)一着を大切に、、、(実用新案申請中)
- ファクトリーの時代に挑む「ものづくり」で日本、世界の市場を切り開く
- アナログを楽しむことが日本の縫製業を次世代につなぐ
- もったいない!大阪発信サステナブルな取り組み! 泉州タオルと大阪かばん 意外な共通点とこれから
- SDGs時代における、アパレル生産の“社会と技術”

- 工業用ミシンのIoT化の事例から -
ものづくり中小企業とITベンチャーから生まれる可能性
- サステイナブルなファッションコミュニティ「NewMake」について
～ブランドとコラボしたアップサイクルの取り組み～
- 廃棄衣料をゼロに！リデクロの挑戦
- 下着縫製のウィンウィン戦略 彦根の美成産業目線とは

<ホームソーイングゾーン>

NewMake(アップサイクル)のソーイング体験(有料)

お問い合わせ等は下記までご連絡下さい。

JIAMデスク メッセフランクフルト ジャパン株式会社内

Tel 03-3262-8456 E-mail visit@jiam-show.com



2.第170回理事会(ウェブ会議併用)

(2022年10月12日(水)、14:00～ ホテルグランヴィア大阪)

当工業会の第170回理事会をホテルグランヴィア大阪(大阪市北区)で開催し、すべての議案を審議しました。当日は、新型コロナウイルス感染症防止を考慮して、対面形式とオンラインによる併用で会議を開催し、理事総数16名に対し12名出席(会場:8名、オンライン:4名、代理:1名)で過半数となり、理事会は成立しすべての議題について承認可決及び報告が行われました。冒頭に内梨会長より以下の挨拶がありました。

<挨拶要旨>

新型コロナウイルスの感染症への対応ですが、日本においても水際対策の緩和が今月11日から始まり、海外からの入国者数の増加が期待され経済活動の起爆剤になりそうです。一方、原材料費の高騰、世界各国で進む金融緩和の動きもあり、円安、物価上昇による経済への影響が懸念されます。海外では既に経済活動が

優先されておりますが、ロシアによるウクライナ侵攻長期化の影響もあり、世界の政治・経済が2極化される動きが続いており、今後の行方には迅速に対応する必要があります。



内梨 晋介 会長

縫製機械産業においては、工業用ミシンは堅調な生産、販売を続けているものの、家庭用ミシンはやや減速感がみられます。今後の見通しについては、中国ゼロコロナ政策による中国経済への影響、米国、欧州及びアジア新興国経済への供給面での制約、金融資本市場の変動などの影響に注視する必要があります。

ここで、当工業会の主な事業についてお伝えしたいと思います。

一つ目は、来月開催の**JIAM 2022 OSAKA**についてです。会期は11月30日(水)～12月3日(土)の4日間、インテックス大阪4,5,6号館での開催となります。テーマは「**JIAM**から、つながる...～次世代技術と匠の技のコラボレーション～」です。

10月5日時点で、出展数143社(前回:158社)、小間数890小間(前回:1,106.9小間)となっております。主催者特別セミナーとして、経済産業省製造産業局産業機械課安田篤課長から「製造業とデジタル」のご講演など多彩な内容を予定しております。また、ホームソーイン



4.第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集締切り

全国の小・中・高校生を対象とした第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの作品募集は10月31日(月)で締切りとなり、多くの作品が寄せられました。関係各位のご協力を厚く感謝いたします。今後は12月に第一

次、第二次審査会を開催し、入選作品を決定します。

入選作品表彰式はオンライン参加も含めて検討しており、2023年3月4日(土)、13時30分より(一社)日本工業倶楽部(東京都千代田区丸の内)で開催する予定です。



5.JASMA部会・委員会・WGの紹介(市場対策第一委員会)

市場対策第一委員会は4社5名からなる委員構成により、ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの実施や日本ホビーショーへの出展など、家庭用ミシンの普及拡大継続に向けた機会を提供し、市場の活性化を図ることで子供たちへの関心を広げ将来の人材育成に寄与することを目指しています。また、ミシンの販売流通関係団体と交流し情報交換を図っています。



編集後記

業界を挙げて準備に取り組んできたJIAM2022 OSAKA。思えばJIAM2020として日本の縫製機械の世界市場への起爆剤となることを期待しつつも、準備の最中にコロナ禍に突入し延期の憂き目を見てきました。開催まで残すところ数週間、各社の準備と実行委員会、WGや事務局の苦労がようやく花開く時が来ました。咲かせた花に実を付けるのが各社の本当の勝負です。環境は原材料の高騰、歴史的な円安、ロシア・ウクライナ情勢や世界的物流遅延など各社のおかれた状況により影響の受け方は様々ですが、いずれにせよ活況となることを望みます。

(T.F)

JASMA 会報

Vol.19 No.3 2022年11月24日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会
発行責任者：湯原 孝志

〒105-0004
東京都港区新橋5-25-3 第2一松ビル2階
TEL. 03-6435-8190 FAX. 03-6435-8192

URL <https://jasma.or.jp>

Eメール info@jasma.or.jp

本JASMA会報は、発行後、当工業会ホームページに掲載しております。